



感謝状を贈呈された日野高校生の3人

1月18日、さまざまな活動を通して、地域を元気にしてくれた日野高校の生徒に、町から感謝状が贈られました。

今回、感謝状が贈られたのは、日野高校3年の門脇あずささん、徳岡莉旺さん、森山愛幸さんの3人。3人は高校の課題研究で、令和5年度に廃校となった黒坂小学校と日野中学校を活用したイベント開催を考案。廃校の視察、イベントの立案、放課後子ども教室訪問などの活動に取り組んだことがたたえられました。

廃校利用で地域の魅力発信を考える
日野高校生に町から感謝状



ぺったんぺったん、重たいなあ

1月12日、ひのっこ保育所でもちつき「よしよしよ、よしよしよ」のかけ声に合わせ、ペツタンペツタンともちをつく音が響き渡った遊戯室。保護者の方も2人参加し、園児たちとともにもちをつきました。もちをついている間には、「がんばれ、がんばれ！」という声援も。重たいきねとうすを使つて、園児たちは元氣いっぱいにもち米をつきあげていました。

つきあがったもちちは、園児たちの手で丁寧丸められ、昼食にお雑煮として振る舞われました。

おいしいおもちになあれ！
ひのっこ保育所でもちつき

オシドリ
第1回 フォトコン
表彰式

2月2日、オシドリ観察小屋で、第1回オシドリフォトコン表彰式が行われました。

オシドリ観察小屋や日野町内で撮影されたオシドリをテーマとした今回のコンテスト。当日は、入賞された撮影者の皆さんに、埴田町長から賞状と景品が手渡されました。



表彰された作品は、3月31日までオシドリ観察小屋で展示しています。ぜひ、ご覧ください。

◀埴田町長から賞状を贈られた金森さん

出品数および展示数

- ①一般部門
 - ▼出品数：15点
 - ▼展示数：7点
- ②スマートフォン部門
 - ▼出品数：3点
 - ▼展示数：3点

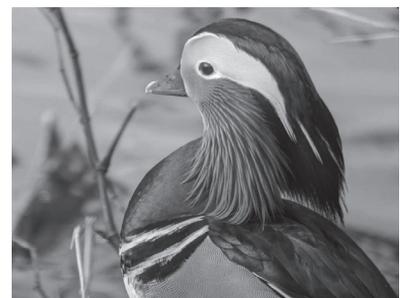
- ・最優秀賞 / 各部門1点
- ・優秀賞 / 一般部門6点
スマートフォン部門2点

《一般部門》最優秀賞



作品名：水鏡
撮影者：金森 幹夫

《スマートフォン部門》最優秀賞



作品名：冬季のひだまり
撮影者：T@ (Instagram)



日々の成果とともに、寒さの中で心身を鍛える 日野川で錬守会館空手寒げいこ

気合のかけ声とともに、拳を突き出す

寒さの中で心身を引き締め、今年一年の精進を誓う、少林寺流空手道錬守会館鳥取地区本部（舟越寛継本部長）による空手寒げいこが、1月28日、町文化センターと日野川で行われました。

当日は、郡内の小学生、中学生などを中心に多くの会員が参加。空手の形の演武や足蹴りでの板割りなど、一年間の成果を披露しました。

最後は、家族らの声援を背に受け、身を切る冷たさの日野川へ入水。「えいっ、えいっ」とかけ声を合わせ、拳を突き出していました。



勢いよく水をかけ、厄落とし 菅福地区伝統行事「ホトホト」

ホトホト役にバケツで水をかけ厄落とし

みのかさ姿のホトホト役に水をかけて厄を払う、菅福地区の伝統行事「ホトホト」が、2月3日に行われました。

これは、厄年を迎える人の家庭に、神の使い「ホトホト」がお札やわらの馬などの縁起物を持って訪れ、家の人から祝儀の品を受け取って帰るところに水をかけると厄が落ちるといふもので、古くから菅福地区に伝わる伝統行事です。

今年も、数え年で61歳と42歳を迎える5人の家庭で行われ、訪れたホトホト役の男性らに一斉に水をかけ、厄を落としていました。

集落支援員 だより

SASAKI RYOUMEI
佐々木 良明
担当地区：菅福



1月22日、神様の使いが訪れて厄を流す伝統行事「厄流しホトホト」で使用される縁起物の「馬」を「わら」で作りました。馬は古来より「神様の乗り物」として大切にされてきました。神様に神馬として生きた馬を奉納する風習があったことから、現在では願い事を祈願するとき馬の絵馬に祈願します。

矢田貝連合会長から教わりながら、「馬は舌から作る」「舌が長くなりすぎた」「おしゃべりな馬だな」などにとぎやかに「わら」を編んで、口を大きく開けていなないてる馬、すまし顔でキリリとした馬、少し足が短い馬、いろいろな馬ができました。

2月3日に、厄年を迎える5人の家に、神様の使い「ホトホト」が訪れます。



子どもならではの視点で質問 日野学園6年生議会

緊張しながらもはっきりと質問

2月7日、日野町議会議場で日野学園6年生議会が開かれ、児童12人が議員となり、町執行部に一般質問を行いました。

町に対して自分たちの考えを知ってほしいと、人権を大切に作る町づくりについて、埜田町長や生田教育長ら執行部にアイデアを提案しました。

池座直菜さんは、人権啓発講演会と生きいきひのふれあい祭りのタイアップを提案。他にも、人権について知ったり学んだりする場や機会の提案など、児童それぞれが考えた案を堂々と発表していました。